

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年10月25日

上場会社名 株式会社アクセル 上場取引所 東
 コード番号 6730 URL http://www.axell.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松浦 一教
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 千代 進弘 TEL 03-5298-1670
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成29年3月期第2四半期の業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	4,010	△35.1	64	△91.7	63	△91.5	45	△91.3
28年3月期第2四半期	6,175	—	771	—	750	—	519	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	4.02	—
28年3月期第2四半期	43.56	—

（注）平成27年3月期第2四半期は四半期財務諸表を作成していないため、平成28年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	12,173	11,296	92.8	1,009.74
28年3月期	12,156	11,256	92.6	1,006.14

（参考）自己資本 29年3月期第2四半期 11,296百万円 28年3月期 11,256百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	11.3	300	22.8	300	36.0	200	75.6	17.87

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	11,187,749株	28年3月期	11,187,749株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	100株	28年3月期	0株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	11,187,736株	28年3月期2Q	11,924,518株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

当社は、平成28年10月26日（水）にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
4. 補足情報	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8
(2) 最近における四半期毎の業績の推移	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善がみられるとともに、個人消費も総じて底堅い動きを示すなど、緩やかな景気回復基調が持続いたしました。しかしながら、海外経済の不確実性の高まりに加え、金融資本市場の変動の影響など、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社の主力市場であるパチンコ・パチスロ機市場は、レジャーの多様化等に起因する市場の低迷に加え、昨年11月及び12月に実施された業界団体による自主規制の影響、伊勢志摩サミット（平成28年5月開催）に合わせて実施された新台設置の自粛の影響等も重なり、厳しい環境が続いております。

かかる環境の中で当社は、パチンコ・パチスロ機市場に向けた各種製品の販売活動に引き続き注力するとともに、組み込み機器市場（注1）に向けたグラフィックスLSI（注2）及びパソコン・スマートフォンのブラウザで再生可能なソフトウェアムービーコーデック「H2MD」等のソフトウェアIP製品の営業活動にも注力いたしました。

パチンコ・パチスロ機市場に向けた各種LSI製品は、前年同四半期比2,127百万円減（同35.1%減）となる3,931百万円の売上高となりました。主力製品である同市場向けグラフィックスLSIは、「検定機と性能が異なる可能性のあるぱちんこ遊技機」の年内撤去に向けた一時的な入れ替え需要の発生がありましたが、自主規制前の駆け込み需要により好調な販売動向を示した前年同四半期に比べると約29万個減の47万個の販売にとどまりました。また、同市場に向けたその他製品（LEDドライバLSI（注3）、メモリモジュール製品等）も、前年同四半期を下回る販売となりました。なお、前年同四半期比2,127百万円減収のうち、約80%がグラフィックスLSIの減収によるものであります。

組み込み機器市場向けグラフィックスLSIは、当社製品採用メーカー各社の需要動向により、前年同四半期比36百万円減（同41.0%減）となる51百万円、顧客の開発支援用ソフトウェアや評価基板、「H2MD」等のソフトウェアIP製品等のその他製品は、前年同四半期比1百万円減（同4.5%減）となる26百万円の売上高となりました。以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は前年同四半期比2,164百万円減（同35.1%減）となる4,010百万円となりました。

売上総利益は売上高の減収に伴い前年同四半期比1,047百万円減（同36.4%減）となる1,827百万円、売上総利益率は前年同四半期と横ばいとなる45.6%となっております。販売費及び一般管理費は、研究開発費の減少を主因として前年同四半期比339百万円減（同16.1%減）となる1,763百万円となりました。当社では将来成長に向けた積極的な研究開発投資を実施しておりますが、当第2四半期累計期間の研究開発費は、前年同四半期比319百万円減（同20.2%減）となる1,261百万円となっております。

以上により、営業利益は64百万円（前年同四半期比91.7%減）、経常利益は63百万円（同91.5%減）、四半期純利益は45百万円（同91.3%減）となりました。

（注1）「組み込み機器市場」とは、パチンコ・パチスロ機以外の組み込み機器の製造に係る市場として使用しております。組み込み機器とはコンピュータが内部に組み込まれており、そのコンピュータに特定のアプリケーションに特化した処理を行わせる電子装置を意味しております。医療機器や自動販売機、生活家電など多種多岐にわたる機器が組み込み機器に該当します。

（注2）「グラフィックスLSI」とは、液晶表示装置等に表示を行うための当社LSI製品を意味しております。

（注3）「LED」とは、Light Emitting Diodeの略称で、導電することで発光する半導体素子を意味しており、発光ダイオードとも言われております。「LEDドライバLSI」とは、パチンコ・パチスロ機に搭載されるLEDを効率的に制御するためのLSIを意味しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末との比較で16百万円増加となる12,173百万円（前事業年度末比0.1%増）となりました。主な要因は、売掛金の増加（617百万円）、投資その他の資産の増加（178百万円）に対し、現金及び預金の減少（282百万円）、商品及び製品の減少（364百万円）等によるものであります。

当第2四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末との比較で23百万円減少となる876百万円（前事業年度末比2.6%減）となりました。主な要因は、その他の流動負債の増加（97百万円）に対し、買掛金の減少（129百万円）等によるものであります。

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末との比較で40百万円増加となる11,296百万円（前事業年度末比0.4%増）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は7,780百万円（前年同四半期比10.1%減）となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりとなっております。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における営業活動により増加した資金は95百万円（前年同四半期は338百万円の支出）となりました。これは主に当第2四半期累計期間における税引前四半期純利益（63百万円）、減価償却費の計上（93百万円）、たな卸資産の減少（364百万円）、その他流動資産の減少（89百万円）に対し、売上債権の増加（617百万円）、仕入債務の減少（129百万円）等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における投資活動により支出した資金は321百万円（前年同四半期は131百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出（163百万円）、投資有価証券の取得による支出（135百万円）等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における財務活動により支出した資金は56百万円（前年同四半期は2,372百万円の支出）となりました。これは主に配当金の支払額（55百万円）等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期業績予想につきましては、平成28年4月25日に開示いたしました「平成28年3月期 決算短信」に記載の通りです。

当第2四半期累計期間の業績は、通期業績予想値に対して売上高で40.1%、営業利益で21.4%、経常利益で21.3%、純利益で22.5%の進捗となっておりますが、当期の業績は下期偏重型の計画となっており、通期計画に対して概ね計画通りに推移しているものと考えております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用につきましては、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(3) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,063	7,780
売掛金	465	1,082
商品及び製品	2,000	1,636
原材料及び貯蔵品	0	0
その他	531	318
流動資産合計	11,061	10,818
固定資産		
有形固定資産	336	403
無形固定資産	31	46
投資その他の資産	726	905
固定資産合計	1,095	1,355
資産合計	12,156	12,173
負債の部		
流動負債		
買掛金	681	551
未払法人税等	—	31
その他	161	259
流動負債合計	843	842
固定負債		
資産除去債務	34	34
その他	22	—
固定負債合計	56	34
負債合計	900	876
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018	1,018
資本剰余金	861	861
利益剰余金	9,336	9,325
自己株式	—	△0
株主資本合計	11,217	11,206
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	39	90
評価・換算差額等合計	39	90
純資産合計	11,256	11,296
負債純資産合計	12,156	12,173

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
売上高	6,175	4,010
売上原価	3,300	2,182
売上総利益	2,875	1,827
販売費及び一般管理費	2,103	1,763
営業利益	771	64
営業外収益		
受取配当金	1	2
為替差益	—	2
その他	0	1
営業外収益合計	2	6
営業外費用		
投資事業組合運用損	7	6
その他	16	0
営業外費用合計	23	6
経常利益	750	63
税引前四半期純利益	750	63
法人税等	230	18
四半期純利益	519	45

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	750	63
減価償却費	68	93
受取利息及び受取配当金	△1	△2
投資事業組合運用損益 (△は益)	7	6
売上債権の増減額 (△は増加)	29	△617
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△696	364
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△107	89
仕入債務の増減額 (△は減少)	91	△129
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△240	50
その他	△113	130
小計	△210	49
利息及び配当金の受取額	1	2
法人税等の還付額	—	43
法人税等の支払額	△129	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△338	95
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△74	△163
無形固定資産の取得による支出	△8	△15
投資有価証券の取得による支出	—	△135
その他	△48	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△131	△321
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△2,000	△0
リース債務の返済による支出	△0	△0
配当金の支払額	△371	△55
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,372	△56
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,843	△282
現金及び現金同等物の期首残高	11,500	8,063
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,657	7,780

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第2四半期累計期間の生産実績は次のとおりであります。

区分	当第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)		前年同四半期比
	百万円		%
パチンコ・パチスロ機向けLSI製品	3,240		△55.0
組み込み機器向けLSI製品	29		△47.5
その他	29		29.6
合計	3,298		△54.6

- (注) 1. 金額は販売価額によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第2四半期累計期間の受注実績は次のとおりであります。

区分	当第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)			
	受注高	前年同四半期比	受注残高	前年同四半期比
	百万円	%	百万円	%
パチンコ・パチスロ機向けLSI製品	4,723	9.0	2,659	6.3
組み込み機器向けLSI製品	53	△50.4	29	△47.4
その他	29	△24.4	2	△77.3
合計	4,805	7.3	2,691	4.8

- (注) 1. 金額は販売価額によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第2四半期累計期間の販売実績は次のとおりであります。

区分	当第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)		前年同四半期比
	百万円		%
パチンコ・パチスロ機向けLSI製品	3,931		△35.1
組み込み機器向けLSI製品	51		△41.0
その他	26		△4.5
合計	4,010		△35.1

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2. 最近2事業年度の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	
	百万円	%	百万円	%
緑屋電気株式会社	4,454	72.1	3,196	79.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 最近における四半期毎の業績の推移

平成29年3月期

(単位:百万円)

	第1四半期 28年4月～28年6月	第2四半期 28年7月～28年9月	第3四半期 28年10月～28年12月	第4四半期 29年1月～29年3月
売上高	1,696	2,314	—	—
売上総利益	814	1,013	—	—
営業利益又は営業損失(△)	△33	97	—	—
経常利益又は経常損失(△)	△25	89	—	—
税引前四半期純利益又は 税引前四半期純損失(△)	△25	89	—	—
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	△18	63	—	—
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失(△)	△1.64円	5.67円	—	—
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	11,975	12,173	—	—
純資産	11,193	11,296	—	—
1株当たり純資産	1,000.53円	1,009.74円	—	—

平成28年3月期

(単位:百万円)

	第1四半期 27年4月～27年6月	第2四半期 27年7月～27年9月	第3四半期 27年10月～27年12月	第4四半期 28年1月～28年3月
売上高	2,831	3,343	1,543	1,263
売上総利益	1,371	1,504	683	542
営業利益又は営業損失(△)	589	182	△160	△366
経常利益又は経常損失(△)	581	169	△158	△370
税引前四半期純利益又は 税引前四半期純損失(△)	581	169	△158	△412
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	402	116	△110	△295
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失(△)	32.84円	10.08円	△9.87円	△26.37円
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	14,829	12,538	11,999	12,156
純資産	12,859	11,714	11,558	11,256
1株当たり純資産	1,076.49円	1,047.09円	1,033.12円	1,006.14